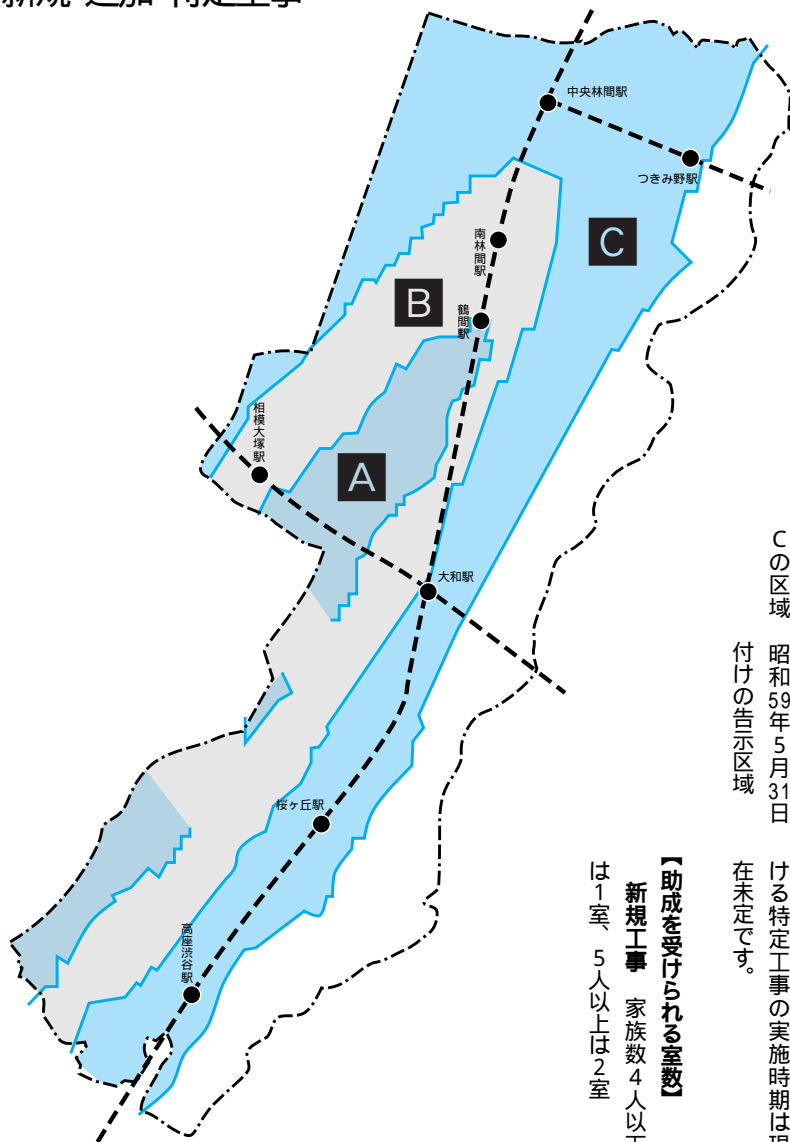


住宅防音工事募集のお知らせ

新規・追加・特定工事



国では厚木飛行場を離着陸する航空機の騒音を防止・軽減するため、住宅防音工事の助成を行っています。

住宅防音工事の募集は「新規工事・追加工事」と「特定工事」について行います。防音工事を希望するかたの中でまだ申し込みをしていないかたは、次のとおり受け付けを行いますのでお申し込みください。

【新規工事・追加工事の助成の対象となる住宅】

図のA・B・Cに示す区域

Aの区域 昭和54年9月5日 付けの告示区域

Bの区域 昭和56年10月31日 付けの告示区域

Cの区域 昭和59年5月31日 付けの告示区域

【特定工事の助成の対象となる住宅】

国では、厚木飛行場に関して、住宅防音工事の範囲を定めた最後の告示日(昭和61年9月10日)に所在した住宅まで対象を拡大しており、これを特定工事と呼んでいます。今回の特定工事の募集対象は、図のAの区域で、昭和54年9月5日から昭和61年9月10日までに建てられた住宅のうち、今までに国から住宅防音工事を受けていない住宅です。なお、図のB及びCの区域における特定工事の実施時期は現在未定です。

【助成を受けられる室数】

新規工事 家族数4人以下は1室、5人以上は2室

【補助金の額】

国の定めた標準工事により行った場合は、国から100%の助成が受けられます。ただし、補助される額には、区域の別及び室数などに応じて一定の限度額が定められており、これを超える額については自己負担となります。

追加工事「家族数+1室(最高5室まで)の範囲で、新規工事の部屋数を減じた部屋数」

5月13日(水) つきみ野文化会館

5月14日(木) 桜丘文化会館

5月15日(金) 勤労福祉会館

受け付け時間はいずれも午前10時～午後6時です。

都合により期間中に申し込みができない人は、座間防衛施設事務所 ☎(61)20063 または 市役所基地対策課 ☎(60)5310へお問い合わせのうえ、なるべく5月25日(月)までにお申し込みください。

【申し込み方法】

次の日程で受け付けを行います。なお、申し込みは原則として住宅の所有者または居住者に限ります。

5月12日(火) 中央文化会館

工事契約の勧誘を行う工事関係者が見受けられますが、防音工事は国の補助金交付決定後でないとならず、勝手に、トラブルを防止するために、契約は慎重に行いましょう。

施設めぐり参加団体を募集します

と き▷ 7月17日(金)、9月29日(火)

内 容▷ 環境管理センター、消防署など市内公共施設を見学・昼食時には市長と懇談

申し込み▷ はがきに団体名、代表者の氏名、郵便番号、住所、電話番号、参加人数(25人まで)、希望日を明記し、5月20日(火)(必着)までに〒242-8601 大和市役所広報課へ。申し込み多数の場合は抽選。問い合わせは同課 ☎(60)5314へ。

第7回まほろば 国際マラソン大会



晴天に恵まれ、桜も満開となった4月5日(日)、厚木基地の滑走路などの周回コースを走る、第7回まほろば国際マラソン大会が開催されました。

近年のマラソンブームやふだんは入ることのできない基地の中を走れるとあって、参加者数が年々増加し、今年も3950人が参加。そのうち3125人が完走しました。

ランナーの家族など応援者を含め、基地内への入場者数は約7000人を数え、お祭りムードの中、午前10時30分、最年少15歳から最高齢81歳まで幅広い参加者たちが一斉にスタート。

今年1番にゴールのテープを切ったのは、青木藤男さん

- (深見台・41歳)でタイムは1時間7分50秒の好成績。皆さん気持ちの良い汗をかきながら、うららかな春の日差しの下、それぞれが自分の走りを楽しんでいました。
- 結果は次の通り(敬称略)
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| 第1位 山川寛 (33歳)
1時間7分53秒 | 第2位 太田健治 (31歳)
1時間8分6秒 | 第3位 谷地政寛 (28歳)
1時間8分17秒 | 第1位 青木藤男 (41歳)
1時間7分50秒 |
| 第2位 沼田光男 (52歳)
1時間16分26秒 | 第1位 溝呂木道子 (27歳)
1時間23分55秒 | 第2位 馬少芳 (33歳)
1時間25分55秒 | 第3位 山田美由紀 (39歳)
1時間26分04秒 |
| 第3位 大木良三 (50歳)
1時間15分29秒 | 第2位 佐藤文 (40歳)
1時間11分12秒 | 第3位 下川三郎 (52歳)
1時間12分56秒 | 第1位 福沢裕 (46歳)
1時間11分12秒 |
| 第1位 下川三郎 (52歳)
1時間12分56秒 | 第2位 佐藤文 (40歳)
1時間11分12秒 | 第3位 佐藤文 (40歳)
1時間11分54秒 | 第1位 福沢裕 (46歳)
1時間11分12秒 |



まちの話題を お届けします

新まちかど特派員 紹介



女性の目から見たまちの話題を提供している「広報やまと・まちかど特派員」の新メンバーが4月6日、土屋市長から委嘱を受けました。

委嘱されたのは、鈴木澄子さん(56歳・福田)、戸辺光枝さん(34歳・下鶴間)、長谷部美由紀さん(37歳・中央林間)、畑山美和さん(32歳・福田)、松原智子さん(46歳・つきみ野)、劉丹さん(35歳・下鶴間)の6人です。

多数の応募者の中から選ばれた9代目となる今年度の特派員は、6人中4人が初めてのかたで、子育て中の人が多

く、育児、教育問題に関心を持っています。その中でも初の外国籍市民やボランティア活動の一環でスペイン語の通訳をしている人など、国際色もたいへん豊かで、いろいろな面から大和市の話題を提供します。

また、広報誌の「まちかど特派員レポート」のコーナーも5月から拡大し、いままでも以上に地域に密着したコーナーにしようと新メンバーも意欲を燃やしています。

新特派員のレポートは、6月1日号から毎月1日号の「広報やまと」に掲載します。どうぞご期待ください。

制度の見直しと増額を 求め国へ要請

「基地交付金・調整交付金」

自治省が基地を抱える各自治体に配分している「基地交付金・調整交付金」について、土屋市長が、3月31日同省を訪れ、制度内容の見直しを要請しました。同交付金は、米軍や自衛隊の施設がある自治体に、固定資産税の代替措置(財政補給金)として自治省が算出、配分するもの。

これまでも市は、国に対し交付金を増額するよう再三要求してきましたが、「算定対象は基地の土地、建物、工作物」という制約があるため、基地による騒音被害などが他市より多いにもかかわらず、交付額は県下で最低でした。

そのため今回、騒音被害を交付金に反映できるよう、その算定対象に基地所属の艦載機を含む航空機を新たに加えるよう申し入れましたが、自治省からは、「交付金の対象は土地、建物と工作物に限られており、現行制度では艦載機をその対象とするのは難しいが、提案として研究したい」との回答がありました。

今後とも、市では基地による騒音被害などの実状に見合った交付金が配分されるよう強く求めていきます。

問い合わせは市役所基地対策課 ☎(60)5310へ。